

平成10年度丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書

丸亀市教育委員会
平成11年3月

はじめに

丸亀市内遺跡発掘調査事業は国庫補助事業として、文化庁及び香川県の補助を得て、市内に所在する遺跡の確認と保護を目的とした遺跡地図の完成に努めています。当市においても総合運動公園整備事業により、中の池遺跡とその周辺で開発工事が着手されるなか、遺跡の特徴、範囲などを確認して、保存に必要な資料を収集しています。今後中の池遺跡や市内各遺跡の調査結果をもとに埋蔵文化財を保護することに努め、これらの成果を生かし、丸亀教育として身近に郷土の歴史に触れ、体験できることを望みます。

平成11年3月

丸亀市教育委員会
教育長 小佐古 公士

例 言

1. 本書は、丸亀市教育委員会が平成10年度国庫補助事業として実施した丸亀市内遺跡発掘調査の概要報告書である。
2. 今回の発掘調査は、丸亀市金倉町字道上 946-1、947-1、948-1、949-1の市道建設予定地、金倉町字道上 958-1、961-1、962-1の調整池建設予定地、金倉町字道上1010-1番地の更衣室建設予定地と垂水町字川原48番地3の四国電力株式会社変電所建設予定地で実施した。
3. 発掘調査及び本書の執筆・編集は、丸亀市教育委員会生涯学習部文化課主任主事東信男が担当した。
4. 挿図の一部に国土地理院地形地図丸亀（1/25,000）と丸亀市都市計画地図（1/2,500）を使用した。また実測図の縮尺は、すべてスケールで表示した。
5. 遺構の実測は、北山多佳子、高木健一の協力を得た。
6. 遺構のトレースは東信男と北山多佳子が担当した。
7. 出土遺物の実測及びトレースは北山多佳子、高木健一が担当した。
8. 遺物の写真は東信男と北山多佳子が担当した。
9. 出土遺物及び図面は、丸亀市金倉現場事務所で保管している。
10. 発掘調査作業は、獅子堀隆司、高木裕子、樋笠和子、宮武恵美子、宮武セキ子、山下俊行、横山紀代子、森崎義信各氏の協力を得た。
11. 本書の執筆にあたっては、宮武進、淀川清眞、加藤悠、合田重通、波指登、藤原当成、尾崎和敏氏各氏の助言・協力を得たので記して謝意を表する。

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 調査の概要	1
A 丸亀市金倉町字道上の調査①	1
B 丸亀市金倉町字道上の調査②	2
C 丸亀市金倉町字道上の調査③	3～8
D 丸亀市垂水町字川原の調査	9
E 丸亀市手島町の箱式石棺	10
第3章 おわりに	11

図 版 目 次

A 丸亀市金倉町字道上の調査①	
第1図 調査位置図	1
第2図 調査地平面図	1
B 丸亀市金倉町字道上の調査②	
第3図 調査位置図	2
第4図 調査地平面図	2
C 丸亀市金倉町字道上の調査③	
第5図 調査位置図	3
第6図 溝の土層	3
第7図 調査地平面図	4
第8図 出土遺物実測図	6
第9図 中の池遺跡及び周辺部の調査概略図	8
D 丸亀市垂水町字川原の調査	
第10図 調査位置図	9
第11図 調査地平面図	9
E 丸亀市手島町の箱式石棺	
第12図 調査位置図	10
第13図 箱式石棺概略図	10

写真目次

B 丸亀市金倉町字道上の調査②

- 写真1 調査地遠景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
写真2 土層・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

C 丸亀市金倉町字道上の調査③

- 写真3 2区遺構確認状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
写真4 4区遺構確認状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
写真5 1区S東面土層及び出土土器・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
写真6 第1トレンチW出土遺物 壺・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
写真7 第1トレンチW出土遺物 甕・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
写真8 石器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
写真9 第1トレンチS出土遺物 壺・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
写真10 第2トレンチE出土遺物 壺・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
写真11 第1トレンチS出土遺物 鉢・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
写真12 第1トレンチS出土遺物 甕・壺・・・・・・・・・・・・ 7
写真13 第1トレンチS出土遺物 甕・壺・・・・・・・・・・・・ 7
写真14 第1トレンチW出土遺物 甕・壺・・・・・・・・・・・・ 7
写真15 第1トレンチW出土遺物 壺底部・・・・・・・・・・・・ 7
写真16 第1トレンチW出土遺物 甕・壺・・・・・・・・・・・・ 7

D 丸亀市垂水町字川原の調査

- 写真17 調査地遠景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
写真18 土層・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

E 丸亀市手島町の箱式石棺

- 写真19 高越遠景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
写真20 箱式石棺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第1章 調査に至る経緯

平成10年度丸亀市内遺跡発掘調査事業は、国庫補助事業として文化庁と香川県の補助金を得て丸亀市教育委員会が、丸亀市金倉町字道上の中の池遺跡とその周辺3箇所及び垂水町字川原で実施した遺跡確認調査である。調査の目的は、丸亀市金倉町字道上の総合運動公園整備事業に伴う事前遺跡確認であり、丸亀市垂水町字川原の四国電力株式会社による変電所建設に伴う事前遺跡確認である。調査の成果については第2章調査の概要にて、手島町字高越で確認した箱式石棺も合わせて報告する。

第2章 調査の概要

A 丸亀市金倉町字道上の調査①

1. 調査目的 丸亀市総合運動公園整備事業に係る市道建設工事のため
2. 調査場所 丸亀市金倉町字道上
946-1、947-1、948-1、949-1
3. 調査主体 丸亀市教育委員会
4. 調査担当 生涯学習部文化課 東 信男
5. 調査期間 平成10年10月1～2日
6. 調査面積 120.75㎡
7. 調査の方法 トレンチ調査。掘削断面と平面精査。
8. 調査トレンチの概要 3箇所のトレンチ
9. 検出遺構 なし
10. 出土遺物 なし
11. 土層状況

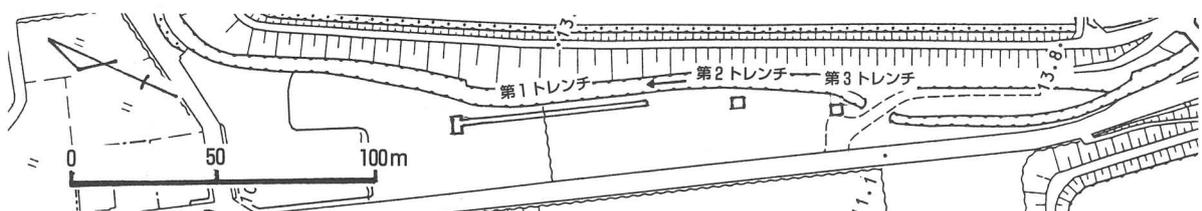
基本土層は攪乱層、黄褐色シルト層、灰色シルト層、浅黄色シルト層、灰黄色シルト層、灰黄色シルト層である。

12. まとめ

遺物を包含する遺構や遺物の検出はなかった。



第1図 調査位置図



第2図 調査地平面図

B 丸亀市金倉町字道上の調査②

1. 調査目的 丸亀市総合運動公園整備事業に係る調整池建設工事のため
2. 調査場所 丸亀市金倉町字道上
958-1、961-1、962-1
3. 調査主体 丸亀市教育委員会
4. 調査担当 生涯学習部文化課 東 信男
5. 調査期間 平成11年2月25～3月5日
6. 調査面積 20.5㎡
7. 調査の方法 トレンチ調査。掘削断面と平面精査。
8. 調査トレンチの概要 5箇所の特レンチ
9. 検出遺構 溝状遺構・柱跡遺構
10. 出土遺物 なし
11. 土層状況

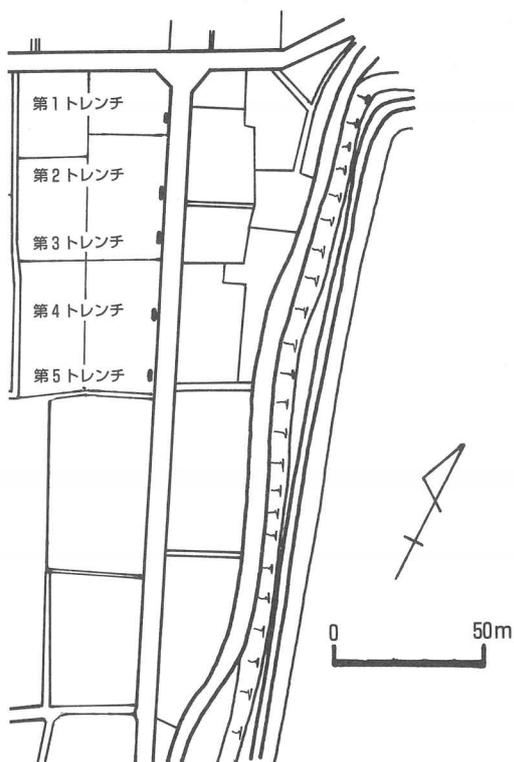


第3図 調査位置図

盛土、耕作土、①黄褐色シルト層、②灰色シルト層が基本層序である。第1と第5トレンチには、①と②の間に溝状遺構や柱跡遺構の包含層である暗灰色シルト層がある。

12. まとめ

この調査地の西側に位置する中の池遺跡は多量に土器や石器が出土している。ここでは遺物の出土がなく、当時の遺構面も後世の耕地化により掘削されていると思われる。



第4図 調査地平面図

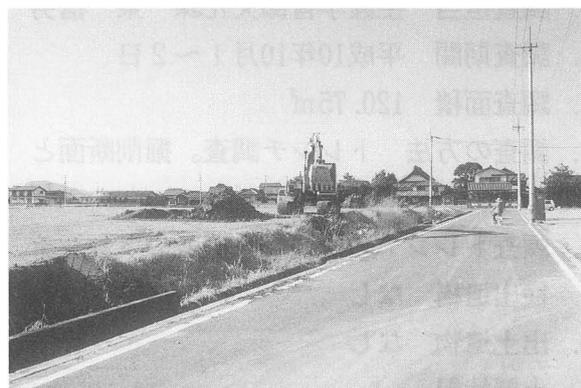


写真1 写真調査地遠景

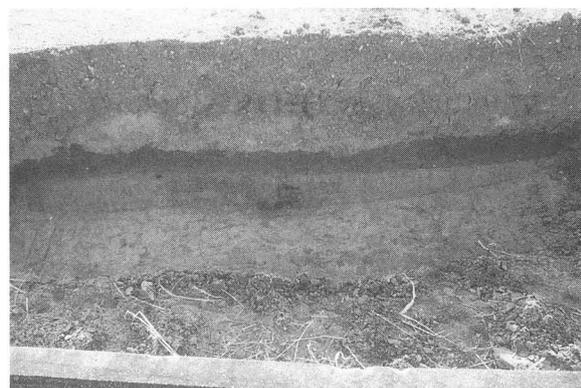
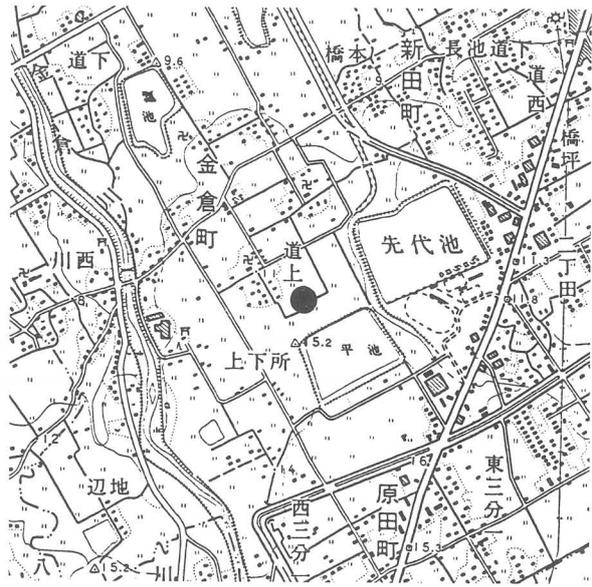


写真2 土層

C 丸亀市金倉町字道上の調査③

1. 調査目的 丸亀市総合運動公園整備事業に係る更衣室建設のため
2. 調査場所 金倉町字道上1010-1
3. 調査主体 丸亀市教育委員会
4. 調査担当 生涯学習部文化課 東 信男
5. 調査期間 平成11年2月25～3月5日
6. 調査面積 73.86 m²
7. 調査の方法 トレンチ調査。掘削断面と平面精査。
8. 調査トレンチの概要 十字トレンチ
2箇所の特レンチ
9. 検出遺構 溝状遺構・柱跡・杭跡
10. 出土遺物 弥生土器・石器
11. 土層状況

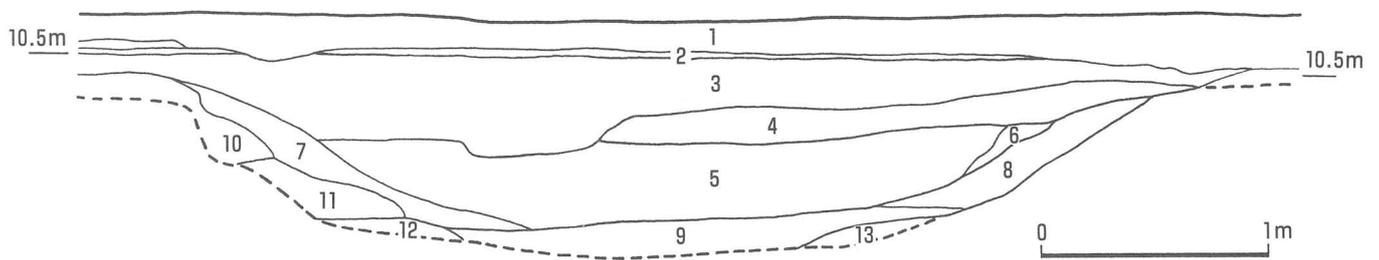


第5図 調査位置図

耕作土、黄褐色粘質土、①灰黄色シルト層、灰色シルト層、灰白色シルト層、茶灰色シルト層となる。①が基盤層となり、この上に中世の包含層である灰色シルト層や弥生時代前期の遺物包含層である暗灰色シルト層がある。

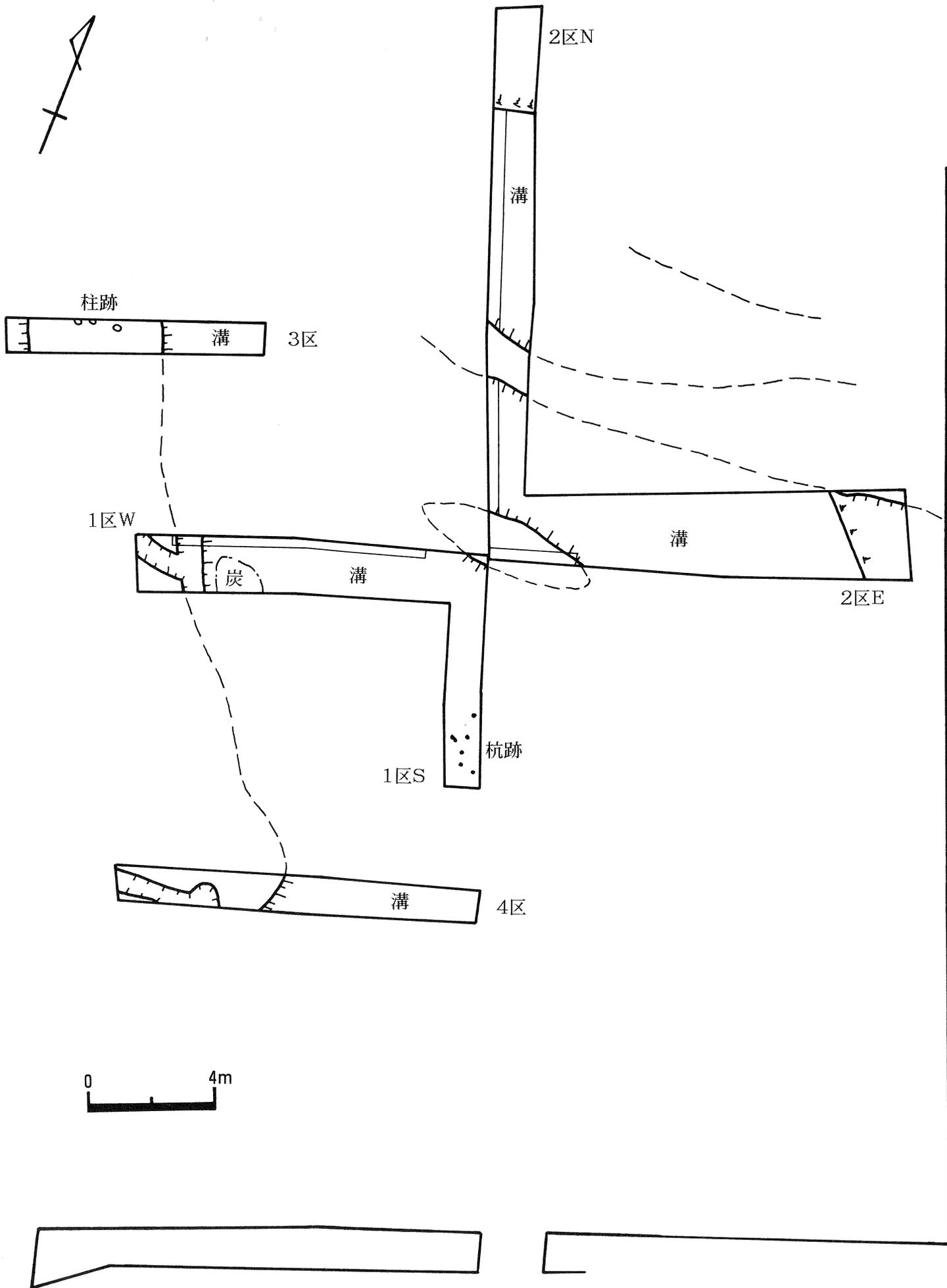
12. まとめ

柱跡と杭跡、数条の溝状遺構を検出した。溝状遺構から弥生時代前期の土器片や石器が多く出土する。土器片の器種は壺や甕、鉢のがある。石器はサヌカイト製で石包丁や削器、石錐などが出土している。出土状況から集落跡に関連する遺構と考えられるため、この地区については本調査が必要な箇所である。また次ページでこの地区で検出した遺構の概略図を示す。



- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 耕作土 | 8. 茶灰色シルト層（土器含む） |
| 2. 黄灰色粘質土層 | 9. 灰色粘質細砂層 |
| 3. 灰色シルト層（土器含む） | 10. 黄灰色シルト層 |
| 4. 灰色細砂層（土器含む） | 11. 灰色シルト層 |
| 5. 暗灰色シルト層（土器含む） | 12. 茶灰色シルト層 |
| 6. 黄灰色シルト層 | 13. 灰色細砂層 |
| 7. 黄灰色シルト層 | |

第6図 第2トレンチN溝の土層



第7図 調査地平面図



写真3 2区遺構確認状況



写真4 4区遺構確認状況



写真5 1区S東面土層及び出土土器

第8図 出土遺物実測図 (S = 1 / 4)

壺

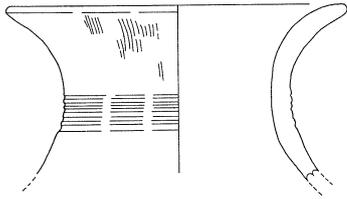


写真6

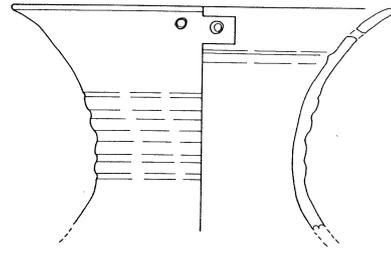


写真10

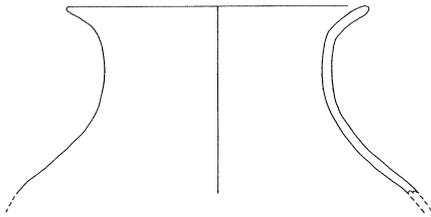


写真16 (右下)

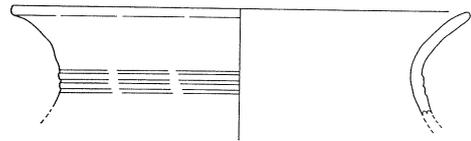


写真16 (右上)

甕

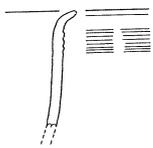


写真14 (上段右から2)

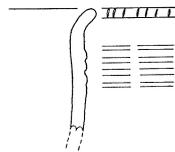


写真15 (上段中央)

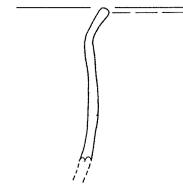


写真15右上

鉢

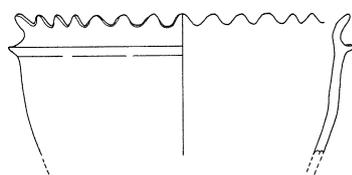


写真9

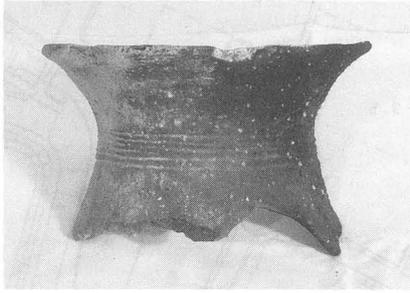


写真6 第1トレンチW出土遺物 壺

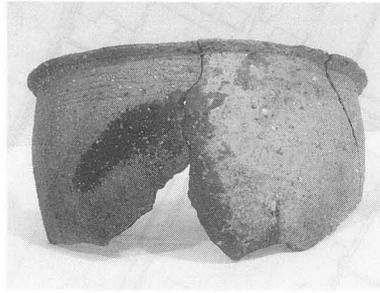


写真7 第1トレンチW出土遺物 甕

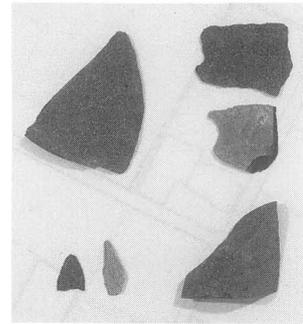


写真8 石器

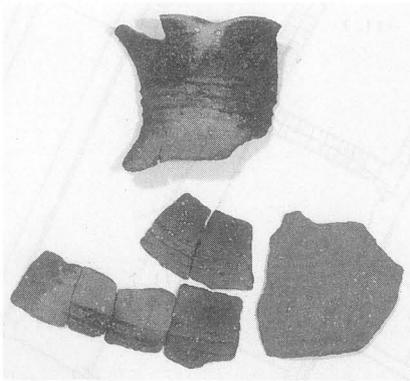


写真10 第1トレンチS出土遺物 壺



写真11 第2トレンチE出土遺物 壺

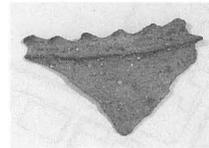


写真9 第1トレンチS出土遺物 鉢

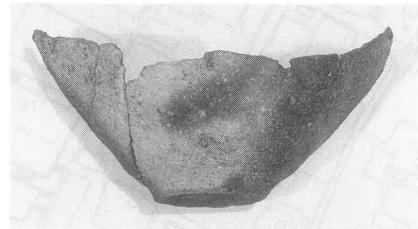


写真12 第1トレンチS出土遺物 壺底部

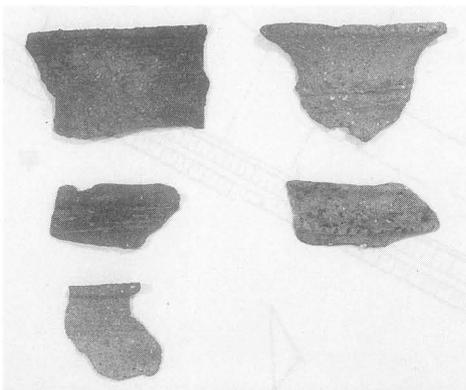


写真13 第1トレンチS出土遺物 甕・壺

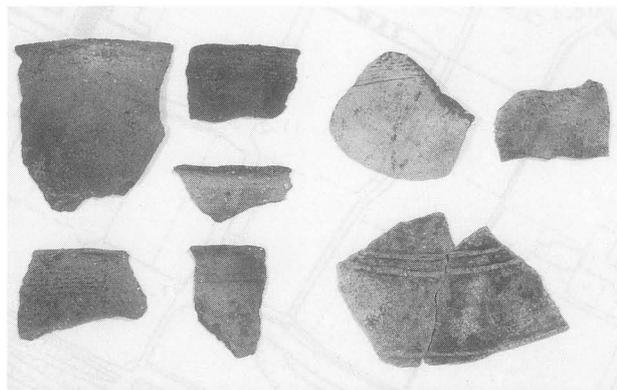


写真14 第1トレンチW出土遺物 甕・壺

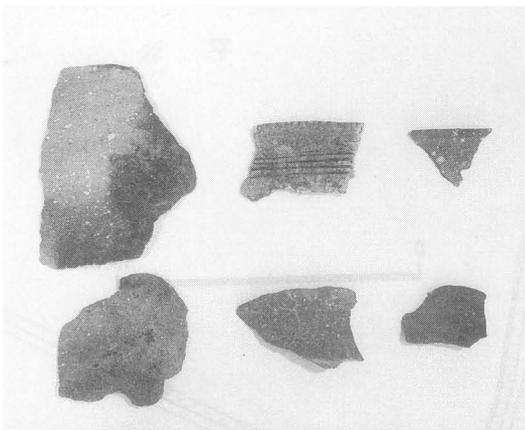


写真15 第1トレンチW出土遺物 甕・壺



写真16 第1トレンチW出土遺物 甕・壺



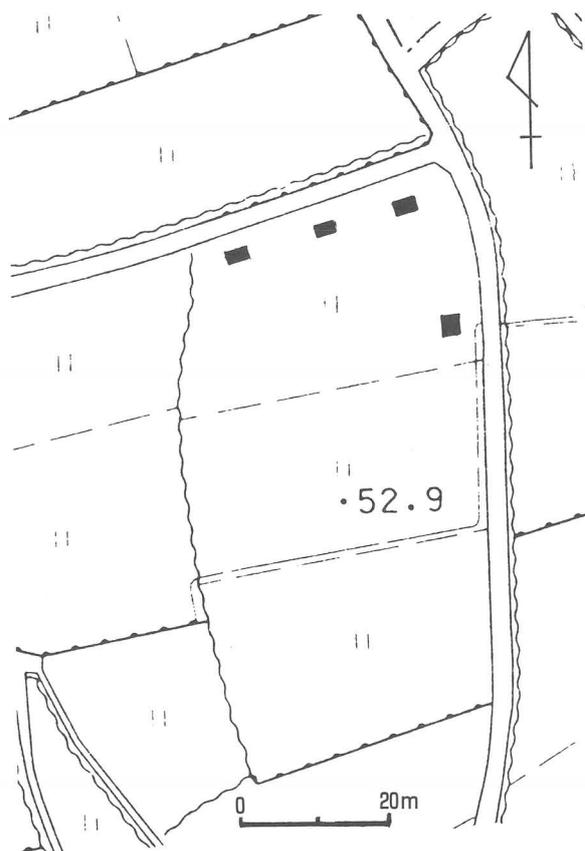
第9図 中の池遺跡及び周辺部の調査概略図（今までの調査成果と今年度調査成果）

D 丸亀市垂水町字川原の調査

1. 調査目的 四国電力株式会社の変電所建設予定地の遺構確認のため
2. 調査場所 丸亀市垂水町字川原48番地3
3. 調査主体 丸亀市教育委員会
4. 調査担当 生涯学習部文化課 東 信男
5. 調査期間 平成10年12月14日～12月15日
6. 調査面積 35.4 m²
7. 調査の方法 トレンチ調査。掘削断面と平面精査。
8. 調査トレンチの概要
4箇所のトレンチ調査
9. 検出遺構 なし
10. 出土遺物 なし
11. 土層状況
基本層序は耕作土、灰色シルト層、黄褐色粘質土、黄色粘質細砂層、灰色粘質土、礫層である。
12. まとめ
礫層が出土することからこの辺りは、土器川の流域であったことが分かる。遺構・遺物の検出はなかった。



第10図 調査位置図



第11図 調査地平面図



写真17 調査地遠景

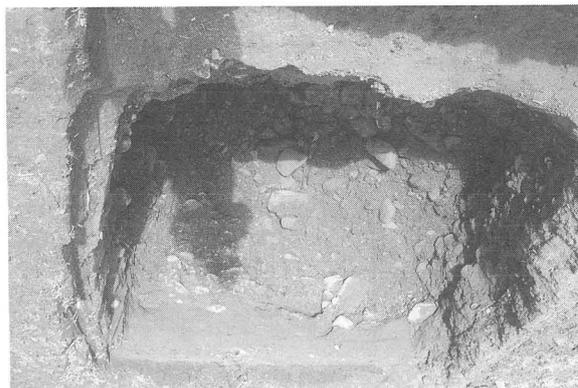
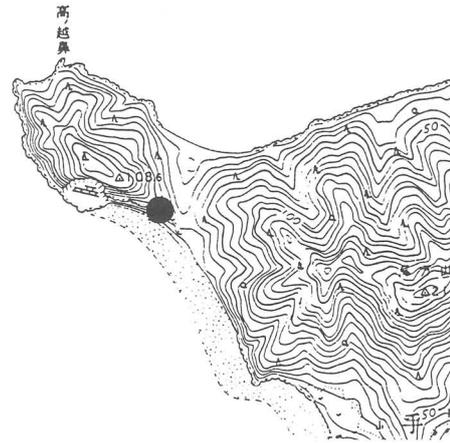


写真18 土層

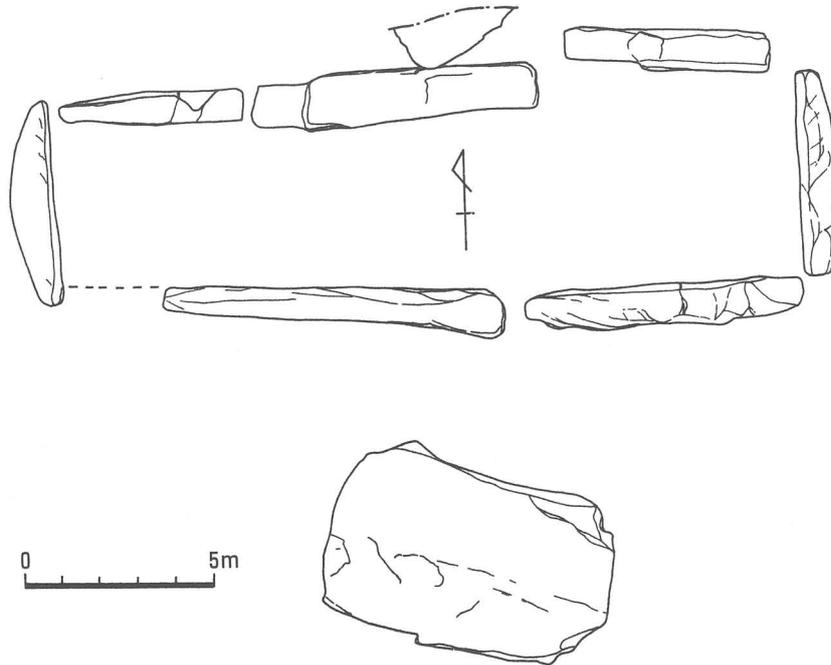
E 丸亀市手島町の箱式石棺

1. 場 所 丸亀市手島町字高越
3. 遺 構 箱式石棺
4. 遺構の寸法 長さ 2.2m
幅 0.8m
5. 材 質 花崗岩の板石
6. まとめ

遺跡台帳では手島古墳として知られていた。花崗岩の板石を用いた箱式石棺である。蓋石が周囲に散乱しており、発掘されている。以前どこかの大学により調査されたと地元の人から聞いたが、詳細は不明である。



第12図 調査位置図



第13図 箱式石棺概略図



写真19 高越遠景

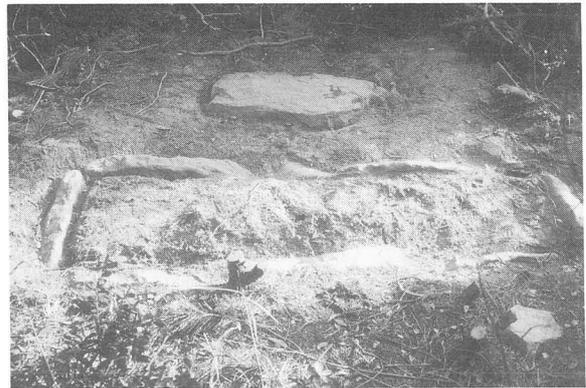


写真20 箱式石棺

第3章 おわりに

本年度調査結果を見ると丸亀市金倉町字道池の調査では、平池北側に展開する中の池遺跡の東側では遺物の出土がなく、顕著な遺構も発見されていない。それに比べて西側では、多数の遺物と遺構があることが分かった。中の池遺跡は昭和51年度と56年度に確認調査がなされ、3重の環濠をもつ弥生前期の集落跡と報告された。これまでの調査から環濠の範囲外にも、多数の遺物を包含する溝状遺構を検出しており、これらの遺構が中の池遺跡の主体部にどのように関連するのか確認する必要がある。

また丸亀市垂水町字川原の調査では遺構の検出は無く、その字名が示すように、以前は土器川の流域内であったことが分かった。

『丸亀市史』に手島古墳として掲載されている丸亀市手島町の古墳は、詳細不明であったが今回の確認により、箱式石棺であることが分かった。この周辺部にはまだ遺跡が存在する可能性が高く、詳細分布調査が必要である。

最後に丸亀市田村町の田村廃寺跡推定地内で共同住宅建設工事があり、調査立会をしたところ遺構の検出は見られなかったことを報告しておく。

報告書抄録

ふりがな		へいせいじゅうねんど まるがめしな いせきはくつちょうさ がいようほうこくしょ						
書名		平成10年度丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書						
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名		東 信男						
編集機関		丸亀市教育委員会						
所在地		〒763-8501 香川県丸亀市大手町二丁目3番1号						
発行年月日		西暦 1999年 3月 31日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なか いせき 中の池遺跡	かがけん 香川県 まるがめし 丸亀市 なくらちよう 金倉町	37202		34° 15' 45"	133° 46' 15"	H10.10.1 ~ H10.10.2	120.75 m ²	遺跡確認調査
				34° 15' 50"	133° 46' 12"	H11.2.25 ~ H11.3.5	20.5 m ²	遺跡確認調査
				34° 15' 45"	133° 46' 10"	H11.2.25 ~ H11.3.5	73.86 m ²	遺跡確認調査
	たるみちよう 垂水町			34° 13' 10"	133° 50' 15"	H10.12.14 ~ H10.12.15	35.4 m ²	遺跡確認調査
てしまはこしませっかん 鴉箱式石棺	てしまちよう 手島町			34° 24' 8"	133° 37' 15"			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
中の池遺跡	集落	弥生時代 前期	柱穴 杭跡 溝状遺構	弥生土器片 石器				
鴉箱式石棺	墓	弥生~古 墳	箱式石棺					

平成10年度
丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書

平成11年 3月発行

編集 香川県丸亀市大手町二丁目三番一号
発行 丸 亀 市 教 育 委 員 会

印刷 (株) 四 国 工 業 写 真